

活動交流（提言書作成に向けて）

令和2年6月24日 松本正敏

1	テーマ	古賀市の校区コミュニティ創りの推進について
2	所属団体	平成27年度～令和元年度 5年間 古賀西校区コミュニティ運営協議会副会長
3	活動実績 (古賀西校区)	1 企画委員会（月1度の定例会議）5行政区から各2名選出 計11名 ・コミュニティ活動の企画立案、活動計画の提案、活動実績の反省 2 4つの専門部会 （1）防犯部会 ・毎月第2火曜日 古賀西小学校の集団下校の引率 ・学校に集合し、5行政区毎に集団下校するので、校区コミュニティの一体感を感じやすい利点がある。子どもと会話をしながら下校するので、子どもと大人の心の距離感が近くなり、地域の大人と子どもの信頼関係が醸成される。 （2）青少年育成部会 ① 「西っ子アンビシャス広場」の開催 ・春の陣（各行政区がものづくり体験コーナーを提供）3月 ・夏の陣（水泳教室）西小学校のプールを活用する。8月 ・秋の陣（ニジマス釣り体験）西小学校のプールを活用して親子釣り体験 11月 ・冬の陣（ホッケー教室）玄界高校ホッケーの卒業生を活用したホッケー体験 子どもたちの体験が難しい貴重な体験活動の提供や経済的格差の家庭環境を乗り越える体験活動の保証。チャレンジ精神の高揚 1月 ② 「通学合宿」 ・4泊5日で南区、鹿部区の公民館に宿泊する。子どもの自立心、協力の楽しさを体験している。また、地域の大人の支援、「もらい湯」の体験など、大人への信頼感、地域愛が育っている。 （3）健康スポーツ部会 ① 年2回の「西校区スカットボール大会」の実施（10月） ② 年1回の「西校区グラウンドゴルフ大会」の実施（11月） ・校区の人たちの親睦と交流を趣旨にしたスポーツ大会であり、貴重な交流体験ができている。近頃、幼児、小学生、中学生、高校生、若い保護者など、異年齢交流ができる場になっている。 （4）環境部会 ① 毎月1日曜日（鹿部区、日吉台区、古賀北区）、第2日曜日（古賀南区、中川区）松原清掃活動を行っている。地域の松原を守り、育てる環境保護活動の実施 ② 「はまぼう祭り」の開催 毎年7月、花鶴が浜公園で開催。花鶴川河畔で育つ「はまぼう」を大切に する活動を通して、古賀市の自然を大切にする環境保護活動の一環として 開催。地元の活動を発表するアトラクションや食品バザー、地元農業生産 物の販売。また、体験コーナー（囲碁、ゴルフ、将棋など）。地元企業の 協賛。子どもたちの「はまぼうの花」写生コンテスト、俳句コンテストな どを実施し、「はまぼう」の保護意識の高揚に努めている。

		(5) 全体活動 ① 校区人権啓発研修会 ・年2回「社同推」と連携して、地元の公民館で開催している。多様な人権課題について考え、自己啓発していく貴重な機会である。 ② 古賀西小「浜の運動会」の支援活動 ・古賀西小裏の海岸で行われる「古賀西小浜の運動会」が50年ぶりに復活したのを機会に、地域のみなさんと、西小学校の子どもたちとの交流を通して地域学校協働活動として根付いている。 ③ 古賀西小「西っこまつり」の共催 ・実行委員長をコミュニティ運営協議会の会長が担い、学校・PTCA・コミュニティの3者で連携しながら、毎年11月に開催している。
4	考察	(1) 成果（校区コミュニティ運営協議会が発足して） ○5つの行政区を超えて、人と人の心のつながりの輪が、諸活動を通してできてきた。 ○西小学校の子どもたちを校区総体で育てようという意識が共有できてきた。 ○人と人のつながりができたことで、安心・安全の地域づくり（子育て支援、不審者対策、災害時の対応・支援活動など）が、推進できる素地ができつつある。 ○住みやすい地域づくりを、行政に任せずに、自分たちの手で推進しようとする意識や重要性が向上してきた。 (2) 課題（市全体のコミュニティ運営協議会の課題も含めて） ○企画委員会のスタッフや、4つの部会のメンバーの固定化、高齢化が進んでおり、新しい人材の発掘が課題である。 ○青柳小学校区のコミュニティ運営協議会が、発足していない。地元の地域づくりは、「どんぐりの会」などが存在しており、地域づくりは、充実しているが、8小学校区全てでの市のコミュニティ創りの推進構想が出来ていない。 ○校区コミュニティづくりの専門アドバイザーがいれば、活動内容の充実や、レパートリーの拡大などについて相談したり、地域の人材発掘について紹介してもらったりネットワークが広がる。 ○花鶴校区コミュニティ運営協議会が、役員の高齢化・固定化等の理由で、令和元年度から解散状態である。復活を具体化する。
5	提言に向けて	○古賀市の地域コミュニティづくり、校区コミュニティ運営協議会づくりについてのグランドデザイン構想の提示（8小学校区のコミュニティの設立） ○地域の課題解決や組織の運営・充実についてアドバイスできる「地域コミュニティアドバイザー（コーディネーター）」（仮称）の人材配置 ○中村哲氏の功績と遺志を継承する古賀市の社会教育活動の実施